

地域リハビリテーションたより

～ 埼玉県地域リハビリテーション・ケア サポートセンター活動報告～
川越比企圏域版 No.11 令和8年3月発行

地域支援事業 5つの枠組み

地域支援事業とは

地域で暮らす高齢者が介護や支援が必要になることを前もって防ぎ、住み慣れたまちで自分らしくイキイキと暮らし続けられるよう、支援するものです。個々の事業だけでなく、様々な取り組みを連動させて、住民・支援者が協力しながら実施しています。

地域リハビリテーション・ケア

サポートセンターは、市町村や地域包括支援センターの求めに応じて、協力しています。

医療・介護連携

医療・介護の関係者が、市民も含め情報や、「価値の共有」を行い、学びや対話を通して、顔の見える関係づくり・連携・協働を進めています。

第13回 医療介護フォーラム



認知症施策

認知症のある方やその疑いのある方・家族の声を聴き、直接支援（認知症初期集中支援チームや認知症ケア専門相談など）、関係者と連携・協働しています。



地域ケア(個別・推進)会議

自立支援・重度化防止・介護予防を目的に、情報共有の場となるよう、研修・意見交換・地域課題の検討等を実施しています。



生活支援

住民の皆さんが支え合う地域づくりの活動を応援します。生活支援コーディネーター（SC）と協力し地域の資源や必要なサービスの発掘・活用に取り組みます。



介護予防

住民主体の活動を応援するため、地域の支え手となる人材の育成、通いの場の立ち上げや活動継続の支援等を行っています。



発行元：埼玉県地域リハビリテーション・ケア サポートセンター 霞ヶ関南病院（川越比企圏域担当）

担当：岡持、駒井、石動、阿部、島崎

〒 350-1173 埼玉県川越市安比奈新田283-1

☎ 049-232-1313(代表)

✉ s-cbr@kasumi-gr.com

埼玉県ホームページ
地域リハ支援体制



災害時における地域リハビリテーションの活用と取組

埼玉県では、住み慣れた地域で自分らしく住み続けることができるよう、住民や関係機関と共に地域リハビリテーションの活動を進めてきました。

市町村の介護予防や自立支援等の取組から、対象となる住民が災害時には要援護者となりうることも解ってきました。一方、介護予防・生活支援サポーター等、住民の互助活動が、避難所運営や住民同士の見守り・支え合いに役立つ事も期待されます。

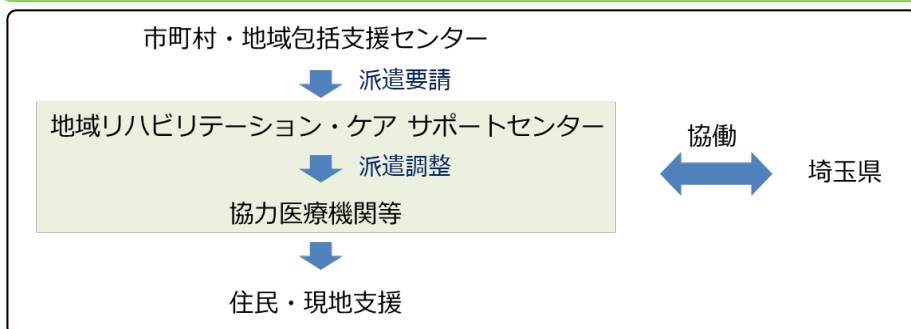
そこで、平時の地域リハビリテーションの延長線上で、「災害時の生活復興に地域リハビリテーションの資源を活かす」、新たな災害対策・運用の備えが必要で、改めて「**地域に根差したリハビリテーション（以下、CBR）**」の活動が求められています。

CBR（Community-based Rehabilitation）とは

平時からの地域連携を土台に、**医療・介護・福祉・行政・住民が協働し、地域資源を活かして地域の実情にあわせた支援の基盤づくりを進めるアプローチ**です。

右下図の5領域を視野に、平時の取組を災害時の支援にもつなげられるよう、生活を支える体制づくりを進めます。

災害時に活用できる平時の地域リハビリテーション体制



市内の医療・介護連携の場での災害対策の取組例

川越市には、医療系団体・介護系団体・民間団体で構成される、「コミュニティケアネットワークかわごえ」（以下、CCNかわごえ）があります。

CCNかわごえは、これまで関係者間のネットワークづくりなどに取り組んできましたが、災害時対応についても学びと協議を続けてきました。

その中で、川越市から過去の市内発災や現在の課題が共有され、市内関係者の各立場から、課題に対しての解決策案を意見交換をする機会を設けました。



認知症のある方への取組～本人ミーティング～

認知症のある方やその疑いのある方の声を聴きながら、支援を共に考えています。当事者が主になって、自らの体験や希望、必要としていることを語り合い、暮らしやすい地域のあり方を一緒に考える場です。

『集って楽しい!』に加え、本人だからこそその気づきや意見を学びあい、関係者で共有し、支援に活かすための集まりです。



県の伴走支援を受けて、既存事業を深化した取組

埼玉県は、令和6年度から県内全市町村における期間限定の専門職による集中的な関わり（サービス・活動C事業：短期集中予防サービス）の創出や改変・見直しの伴走支援を進めてきました。

嵐山町は、県による伴走支援を受け、既存の短期集中予防サービスを関係者と見直す「ハッピーシニアライフプロジェクト」を実施しています。他の取組と連動しながら多くの関係者と協議し、新たな短期集中予防サービス「らん活チャレンジ」を関係者と共に創り上げています。



多職種での協議



実践



効果判定・課題抽出

「望む暮らしの実現」に向けた自立支援の取組

川越市では令和6・7年度、「川越市地域包括ケア自立支援事業」に取り組みました。新しい介護予防ケアマネジメントとインフォーマルを含む地域資源を活かした住民支援を検討。ガイドブック・事例集・リーフレットを作成し、研修会等で共有しています。



川越市



川越市



ガイドブック
・事例集

市民向け
リーフレット



【ガイドブック・事例集はこちら】

<https://www.city.kawagoe.saitama.jp/kenko/fukushi/1006853/1006877/1017332.html>

【介護保険のじょうずな使い方(市民向けリーフレット)はこちら】

<https://www.city.kawagoe.saitama.jp/kenko/fukushi/1006853/1006854.html>

多様な地域での取組



高齢者の保健事業と介護予防の
一体的実施(川越市)



住民による助け合い活動
(移送・送迎支援) (川越市)



自主グループ活動を通じた
自助・互助の活動(鳩山町)



介護予防サポーター養成講座
(鶴ヶ島市)



専門職による「きこえ」の講話
(吉見町)



「対話」中心の専門職による
かかわり (通所C) (川越市)

高次脳機能障害に関する相談窓口について

ケガや病気により受けた脳のダメージにより、日常生活や社会活動に悩みを抱えておられる方、ご家族・関係者のみなさまが気軽に相談いただける窓口があります。どうぞご利用ください。



高次脳機能障害
に関する総合相
談窓口紹介動画
二次元コード

施設名		連絡先
埼玉県総合リハビリテーションセンター内 埼玉県高次脳機能障害者支援センター		048-781-2236 (相談専用)
西部	医療法人真正会 霞ヶ関南病院	049-232-1313 (代表)
東部	医療法人光仁会 春日部厚生病院	080-8181-4148 (相談専用)
県央	社会福祉法人 恩賜財団 埼玉県済生会鴻巣病院	048-596-2221 (代表)

令和7年度派遣実績 (2026年3月末現在)

- 介護予防サポーター養成講座等：163件
- 介護予防教室・自主グループ支援等：440件
- 地域ケア会議等：99件
- 介護予防・日常生活支援総合事業等：112件
- その他の会議・研修等：178件

川越比企圏域：合計992件

自治会・グループを運営されている皆様
専門職の派遣についてご希望の方は、
市町村・地域包括支援センター等を
通じて、当センターまでお問い合わせ
ください。